

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・客の動きが少し活発化してきており、来客数はほぼ前年並みになってきた。客単価もまだ低いものの、何とか前年キープの流れになりつつあり、3か月ぐらい前に比べると、やや回復基調にある。	
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・食品に関しては、鳥インフルエンザの影響等による客の買い控え感があったが、現在は回復傾向にある。来客数はかなり戻っており、客単価も上昇してきている。	
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・天候に恵まれたこともあるが、前回の予想よりは良くなってきており、久しぶりに前年実績を少し超える状況になってきた。	
		一般レストラン （経営者）	単価の動き	・まだまだ数は少ないが、単価の高いメニューの注文が増えてきた。	
		旅行代理店（従 業員）	来客数の動き	・連休を利用した旅行が、国内外とも、昨年を上回った。特に、昨年はSARSの影響でほとんどなかった海外旅行がハワイ、グアム、サイパンなどを中心に大幅に増加した。5月から7月にかけての社内旅行、グループ旅行の契約なども増えている。	
		観光名所（経営 者）	来客数の動き	・来客数、売上とも、前年比で約20%伸びている。	
ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・前年実績を下回っていた来客数が、同等もしくはそれ以上の数字になっている。			
住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・商談において金額、建物規模ともに大きくなってきている。			
変わらない	商店街（代表 者）	一般小売店〔生 花〕（経営者）	単価の動き	・大型ホームセンターの進出により、商品単価が低下しており、売上に影響が出ている。	
		百貨店（総務担 当）	お客様の様子	・客の買い控えの傾向は変わっていない。特に食品では、4月からの消費税総額表示の影響による買い控えが顕著にみられた。	
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・装飾品及び絵画関連が好調に推移したことから、売上高は前年度を上回った。しかし、前月同様に、ファッション関連商品が苦戦し、ブランド商品群も前年を若干割り込んだ。また、来客数は前年を下回っている。	
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・特売品に左右されることなく、必要な物だけを買うという傾向が強くなっている。	
		スーパー（営業 担当）	お客様の様子	・新入学関係の商品は例年並みであったが、衣料品、新生活の家財道具、日用品などについては、あまり新しい物を購入している様子がない。	
		スーパー（財務 担当）	来客数の動き	・既存店来客数の前年比を3か月前と比較すると、107.7%から103.6%へと4.1ポイント悪化している。	
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・従来は曜日によって来客数が読めたが、最近はムラがあり、平均するとあまり良くない。	
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・客単価は変わらないが、観光地全体として来客数が増えてこない状況である。	
		都市型ホテル （経営者）	販売量の動き	・販売量は変わらないが、客単価は落ちてきている。	
		やや悪く なっている	一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・居酒屋、料理店、スナックなどの業務用の売上から判断すると、景気はちょっと悪くなっている。
			一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	お客様の様子	・衝動買いをする客はあまりいない。ほとんどの人は何冊か手に取って、その中から1、2冊だけを選んで買っていく。
スーパー（店 長）	単価の動き		・来客数は昨年と変わっていないが、売上、客単価は減少してきている。		
スーパー（企画 担当）	お客様の様子		・4月からの消費税総額表示で、客は価格が高くなったという認識を持ち、買上点数が少なくなっている。		
衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き		・ファッションをリードしていく新たな商品が見当たらないため、例年と比較し客の反応は良くない。		

		家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数は横ばいであるが、消費税総額表示に伴う競合店との価格競争の影響から、客単価が下がっている。
		タクシー運転手	単価の動き	・異動等の歓送迎会の時期であったにもかかわらず、3か月前と比べると、売上高は11～12%下落している。
	悪くなっている	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・先月に引き続き、今月も紳士服の動きが悪い。通常、衣替えのシーズンに入り、春夏物の購買意欲が高まるが、今までに増して厳しい状況が続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・暖かくなるのが早く、夏物の売行きは良いが、消費税総額表示で、特に月の前半は売上が低迷した。そのため全体としては、夏物の売上の上昇分を消費税の悪影響分が相殺する形となったため、良くなかった。
企業 動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の投入などにより売上は、3か月前に比べて、多少良くなっている。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気が目に見えて良くなっているという実感はないが、新規開拓によって、受注が少しずつ増加している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・製造業の回復とともに、循環型社会の取組によるユーザーの動きが活性化しており、新たな仕事も出てきた。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・低調だった阪神地区のクレーン稼働状況が良くなってきた。過去数年にわたるクレーンの保有台数の減少によって、需給のバランスが取れ始めてきたためであると考えられる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、年度末を過ぎると引き合いが止まるが、今期はまずまずの受注が確保できており、引き合いもかなり多い。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・全体としては明るい気配が感じられるが、零細・中小の小売店、住宅・不動産業は厳しい状況に変わりはない。ただし、大型家電販売店では、高額な薄型テレビ、DVDレコーダーの売上が順調で、予測を大幅に上回っている。
		公認会計士	取引先の様子	・各クライアントの決算内容を見ると、売上はまだまだ前年を下回っているが、減少幅が以前よりは半分ぐらいに少なくなっており、やや持ち直している。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に家庭紙関係、トイレットペーパーの動きが悪い。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量はほとんど変わっていないが、大手企業の中国の進出への影響が出始めている。
		輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・貨物量の前年伸び率は3か月前と比べ、ほぼ同じである。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・県外に受注先がある企業についてはやや回復の兆しがみられるが、県内を中心に事業をしている取引先については、回復の兆しが全くみられない。
	やや悪くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・流通業の大型出店の案件が一段落して、受注が少なくなっている。
	悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている		-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・前年、前々年に比べて、受注が10～20%上昇しており、雇用状況は好転している。
		求人情報誌製作会社（従業員）	周辺企業の様子	・商業、サービス業の求人数に伸びが感じられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、7か月連続して前年を上回っており、特に、医療・福祉関連の求人が増加している。
	変わらない	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人は増加傾向にあるものの、相変わらず、派遣、請負の求人の増加がほとんどである。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人は、前年同月比で若干増えたが、臨時や期限付き求人の増加によるものである。一方、新規求職者も2か月連続で前年比増となり、有効求人倍率は前月比減となった。	
	やや悪くなっている			

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---